

一致協力

理事
濱尾 文

花々が美しい季節となりました。街では、ちいさな体でランドセルを背負って一生懸命登校する姿をみかけます。この時期によく見られる夢と希望に満ちた風景です。私たちにもこんな時期があったのだなあ、と懐かしさがこみ上げてきます。

少子高齢化の中、当院ではベビーラッシュ。3人の子どもに恵まれる職員もチラホラといます。仕事と家庭の両立は大変ですが、それを支えてくれている家族や同僚に感謝の気持ちを忘れず、「医療に携わり社会に貢献している」と実感できたら、なんと素晴らしいことでしょう。今、そんな雰囲気ができつつあるように思います。

さて、当院でも新卒者が入職してくる時期となりました。小さな子どもと同じように、夢や希望に胸をふくらませてやってくることでしょう。共に医療を担う仲間として、一致協力し前進したいと思います。

亀井病院の目指すもの…透析治療の向上

すべての患者さんにオンライン HDF（血液透析濾過）治療が提供できます



副院長 濱尾 巧

オンライン HDF は、平成 24 年度の診療報酬改定において「慢性維持透析濾過（複雑なもの）」として技術料が認められました。また、「透析液水質確保加算 2」が新設され、オンライン HDF は多くの患者さんに施行しやすくなり、普及が進みました。当院でも以前から透析液水質管理を厳密に行い、透析液の清浄化に努めており、いつでもオンライン HDF 可能な状態を維持してきました。平成 24 年 4 月にオンライン HDF が可能な機器（コンソール：日機装社製 DCS-100NX）を 7 台導入し、同年 6 月からオンライン HDF の運用を開始しています。さらに平成 26 年 3 月末にはすべてのコンソールを入れ替え、同年 5 月からはすべての患者さんにオンライン HDF が提供できるようになります。

HDF とは血液透析に濾過を加えた治療法です。もともと腎臓では

血液を血圧という圧力によって腎臓というフィルターで濾過を行い、余分な水分や老廃物を取り除いて血液をきれいにし、尿をつくっています。HDF では濾過する量を増やすために補液をし、血液透析より濾過を多量に行うことで、血液透析では取り除きにくい半透膜の穴の大きさに近い、低中分子蛋白といわれる物質を取り除くことができます。HDF のなかでも、オフライン HDF とオンライン HDF という方法があります。オフライン HDF は補液バックに入った薬剤を補液として使用するので濾過するために足される補液量は少なく、オンライン HDF は透析液をそのまま補液として使用するため、濾過するために足される補液量が多くなります。そのためオンライン HDF のほうがより多くの濾過をかけることができ、より多くの老廃物を取り除くことができます。HDF で使用する補液は、ダイアライザーより手前で足され、ダイアライザー出口で捨てられるため、液体が余分に体の中に入ることはありません。

オンライン HDF は、標準的な血液透析に比べて死亡のリスクを減らすかもしれないと言われてきましたが、実際はどうかは証明されていませんでした。昨年、スペインバルセロナのグループが、従来通りの血液透析を続けていく群と高効率の後希釈オンライン HDF に切り替える群との間で、多

施設共同の非盲検ランダム化比較試験を実施し、高効率後希釈オンライン HDF は、従来の血液透析と比較して、すべての原因による死亡率を減らすことができると結論づけ、推定上は血液透析からオンライン HDF に、8 人切り替えることで年間死亡を 1 人防ぐことができる計算になると報告しています。

オンライン HDF の利点を挙げれば、1) 透析液の清浄化が必須であるため、非常にきれいな透析液での血液浄化が行える。2) 透析アミロイド症の原因となるような物質の除去に優れているため、その発症や進展の抑制効果が期待できる。3) 脚むずむず症候群やイライラ感などの改善効果が期待される。4) 貧血の改善。5) 栄養状態の改善。6) 透析中の血圧安定が期待できる。などあります。さらに、これらオンライン HDF の良い効果を引き出すには、オンライン HDF での長時間透析は有効と思われれます。

今後も新しい治療法に取り組み、透析患者さんへよりよい医療を提供し続けていきたいと考えています。



【DCS-100NX,日機装社製】

参考文献 1) <http://jasn.asnjournals.org/content/early/2013/02/13/ASN.2012080875.full>

当院の教育施設認定

- 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育関連施設
- 日本透析医学会 専門医制度認定施設
- 日本緩和医療学会 認定研修施設
- 協力型臨床研修病院

バックヤード～仕事の風景 @ 調理室～

調理室の風景

普段なかなか見ることのできない亀井病院のバックヤード、患者さんからは見えない場所で働くスタッフの姿を紹介します。第一回目は調理室です。

「食」でみなさんをサポートします

調理室では、調理師が食数や食種などを指さし確認しながら食材を準備、調理しています。撮影時は夕食の“おひたし”を調理中でした。現在6名の調理師が在籍しています。

おいしいものがあると聞けば実際に食べに行って、その味を研究し、新メニューの開発に活かしてくれる頼もしいスタッフです。



Topics ✨ ピアノコンサート、院内発表会

ピアノコンサート

年に数回、ピアニストの三海 英さんが3F デイルームでピアノの演奏を聴かせてくれます。患者さんやご家族からのリクエストにも応えてもらったりと、豊かなひとときを過ごしています。三海さんから、お手紙をいただきました。「今まで経験したことのない場所（病院）での演奏は戸惑いがありました。選曲はもちろんのこと、聴いてくださる方々の心の動きにかなった旋律や演奏など、いろいろな想いを深くすることができました。ありがとうございました。」



第13回院内発表会



平成26年2月25日に第13回院内発表会を開催しました。日頃の業務内容のこと、研究したことなど、今回は6題発表され、後日、最優秀賞と優秀賞の3人*に賞状と記念品が授与されました。

いい訓練の場であり、業務改善のきっかけになっています。

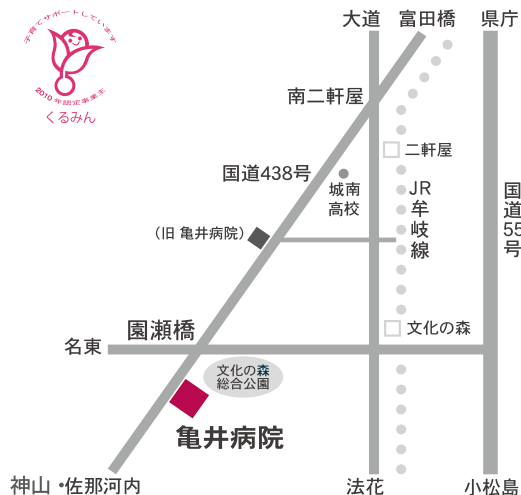
- * バスキュラーアクセス (VA) 狭窄病変の診断における血管造影検査と超音波検査の比較
放射線部：中田拓史
- * 当院血液透析患者のカルニチン濃度の現状
栄養部：山下絵里
- * デスカンファレンスの意義を考える
看護部：岡田美千子

外来診療のご案内

平成 26 年 4 月現在

	月	火	水	木	金	土
腎・泌尿器科						
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 16:30	●				●	
VA 治療						
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 16:30	●				●	
透析科						
8:00 ~	●	●	●	●	●	●
12:00 ~	●	●	●	●	●	●
17:00 ~	●				●	
総合診療科	(第 2・4 土曜日は休診)					
9:00 ~ 12:00	●	●	●		●	○
緩和医療科						
9:00 ~ 12:00		●		●		
麻酔科						
9:00 ~ 12:00	●	●		●	●	
腎臓内科						
9:00 ~ 12:00			●	●		
14:00 ~ 16:30			●	●		
循環器内科	(第 1・3 木曜日のみ)					
14:30 ~ 17:00				○		
整形外科	(第 2・4 土曜日のみ)					
9:00 ~ 12:00						○

- ※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。
- ※いずれの外来も**予約制**で行っています。受診の際は、事前の電話予約と確認をおねがいします。
- ※毎月（月 1 回）の**保険証**の提示にご協力ください。



- 国道 438 号線沿い 文化の森総合公園の西側となり
 - 駐車場 125 台
 - 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線
- 【亀井病院前】下車。1日 55 便、上下線とも病院玄関前に停車します。（徳島駅からは約 15 分で到着します）。詳しくは総合受付までお問い合わせください。

〒770-8070 徳島市八万町寺山 231
 TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122
 ホームページ <http://www.kameihospital.com/>

※地域医療連携室からのお知らせ※ 患者相談窓口をご利用ください

- 当院の患者さん・ご家族からの相談をお受けします。心配なことや困ったこと、不安なことなどがございましたら、気軽にお立ち寄りください。
 - 開設日時：月～土曜日の 9:00～17:00（祝祭日は除く）
 - 相談内容により、関係各部署などと連絡のうえ、対応させていただきます。
 - 利用を希望される方は、各フロア受付や看護師までご連絡ください。
- (担当：柏木英里子)

※表紙の写真※

- 3月15日の朝、富田橋南詰めで撮影した「蜂須賀桜」です。淡い紅色の可憐な姿に、しばし見とれていました。
- 蜂須賀桜が咲きおわると、いよいよ春本番に向かいます。

※病院の理念※ よりよい医療を提供し 社会に貢献いたします

※4つの基本方針※

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが健康回復に取り組むことを医療的にそして精神的に支援します

※編集後記※

社会人になったときの気持ちを覚えていますか？ 目の前にある問題がなければ、どんなことをしたいですか？ 新年度のはじまりです。いま一度、かつて思い描いた希望やわくわく感、こんな風になったらいいなを再確認し、その思いを実現させるべく、日々、自分らしい歩みを続けていきたいです。夢はきっと叶うと信じて。

(T.N.)